



事務局ニュース 〈10号〉 2016. 10. 27

急に寒くなったかと思うと日中汗ばむ、変わりやすい天候が続く毎日です。さて、今回も皆様からのお便りをご紹介します。

日本スポーツマスターズ 2016 秋田大会に出場して 9月17・18日



〈プールをバックに選手の皆さん〉

東北では初めての開催、秋田県立総合プールにて行われました。4年ぶりの屋内プール開催で、選手控え場所にも余裕があり、万全の体勢で競技に挑めました。ただ遠方ということもあり、参加選手は、男子10名、女子3名の少人数なのは残念でした。が、エントリー種目ほとんどが8位入賞を果たし、男女総合結果は、14位と少人数ながらの結果でした。

プールは他県の選手からも好評で、「泳ぎやすい」「いいプールだね」という声が聞かれました。関東・関西圏の勢いが増しており、中部地区愛知もなんとか上位に食い込みたいものです。来年は兵庫県尼崎市での開催が決まっております。愛知県から

も近いので、幅広い選手層の参加をお待ちしています。(スタッフより)

今大会は秋田県開催で愛知県から遠方ということもあり、出場者が前回大会より少なくなりました。しかし、初めて参加される方がリレーメンバーに入るなどして応援では盛り上がりました。水泳会場も泳ぎやすかったこともあり、表彰台にも数名の選手が上がり愛知県の力を示せたと思います。本大会はシニア版国体といわれ、中高年世代の全国大会になります。このような大会に私自身、愛知県代表として出場できたことは本当に幸せです。また日本選手権を彷彿させるような大会運営にも感動しました。来年以降もスポーツマスターズに出場して、全国のスイマーとの交流をはかりたいです。皆様、2日間どうもお疲れ様でした。(選手 T・Sさんより)

第29回ねんりんピック長崎 2016 に参加して 10月14～16日



長崎で「ひらけ長寿の 夢・みらい」をテーマに全国健康福祉祭(ねんりんピック)が10月14日から3日間にわたり長崎県で開催されました。この大会は60歳以上の高齢者を対象にしたスポーツと文化交流の祭典です。高齢者が元気で生きがいを育むとともに、世代や地域を超えて人とのつながりを結ぶことを目的としています。今年は26種目に約1万人が参加し、長崎県内12市3町で熱戦が繰り広げられました。大会初日には約1万人の選手を迎え、総合開会式が諫早市で行われました。(左写真) 炬火リレーが行われ、歓迎のアトラクションには約1600名の園児、生徒が長崎の伝統・文化を生かした演技で華やかに式典を盛り上げてくれました。

水泳交流大会には47都道府県と政令指定都市から291名の参加者がありました。愛知県からは男子4名、女子3名、名古屋市からは男女各4名が参加しました。大会会場は平和公園の近くにある長崎市民総合プールです。大会は年齢別に行われ、リレーは男女混合でチームを編成します。愛知水泳連盟からいただいた「AICHI」のユニフォームが代表としての喜びとレースに臨む勇気を与えてくれました。

今大会の最高齢者は男女とも92歳です。年齢を感じさせない泳ぎの美しさに感銘を受けました。スタンドからは大声援が送られました。競技は和やかな雰囲気の中で進みましたがレースは白熱したものでした。種目によってはジャパンマスターズの記録を上回るレースもあり、全国大会にふさわしい内容でした。愛知県と名古屋市は大会の中ではライバルですが、互いにエールを送り励まし合ってレースを盛り上げました。その結果両チームとも上位入賞を果たすことができました。交流が主な目的なので県別対抗の総合得点はありませんが、愛知県勢の入賞者数は参加全チームでトップレベルです。

また、長崎県の皆さんの温かいおもてなしに感激しました。元気に泳がれる先輩方から大きなパワーを頂きました。これからも練習に励みたいと思います。

〈選手 Y・Mさんより〉



〈愛知県選手団の皆さん〉